

## 地域ニーズに応じた質の高い高齢者労力を活用する仕組み

情報経営部 情報チーム TEL:022-383-8120

### 研究の目的

本県農業の中心的な担い手の高齢化や担い手を補完する労力の不足が顕著となっている一方、生きがいや働きがいを求めてシルバー人材センターに登録するシルバー会員はここ10年間で大幅に増加していることから、地域ニーズに応じた質の高い高齢者労力を農業に活用する仕組み「高齢者人材資源活用システム」を検討しました。

### 研究成果

雇用者のシルバー人材センターに対する評価は、「利用手続きが楽」、「利用しやすい料金」に対する評価が高い一方、評価が低かったのは「急な作業依頼への対応」、「人材が豊富」、「仕事を任せることへの信頼感」、「日時変更等の融通」だった。そこで、シルバー会員への農作業研修を実施することにより、農作業に対応できるシルバー会員の人数を確保し、急な作業依頼や変更にも対応できるようにすることが考えられます。

シルバー会員への農作業研修を行った結果、農作業へ不安を持つ研修参加会員の半数以上が不安が軽減したと回答し、実際にシルバー人材センターでの就業延べ人数の伸びている作業も多く、農作業研修が農作業技術の習得だけでなく農作業への不安解消にも効果があることが分かります。

農作業研修に参加したシルバー会員の評価は好評であり、現地圃場で農場主が講師をした研修でも、当研究所内で当所職員による研修と同等の評価を得られたことから、地域段階での農作業研修会でも効果は十分です。



リンゴ摘果(摘花)作業研修会

### 普及等の見込

以上のことから、農作業に対応できる人材の確保・育成と円滑な農業労働力の需給調整を行うためには、体制を整え、地域で雇用ニーズの多い農作業を中心に、シルバー人材センターとJA生産者部会等の生産者組織が連携して農作業研修を実施することが有効です。

